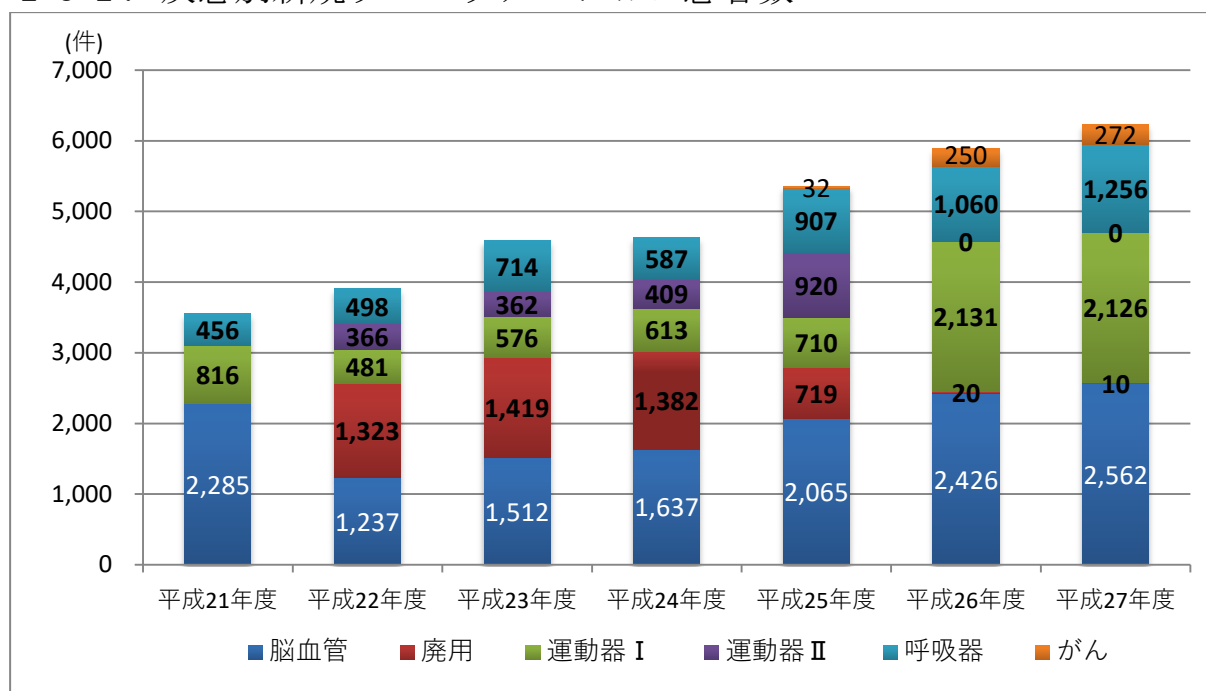


101. 疾患別新規リハビリテーション患者数



リハビリテーションの重要性が認識され、診療報酬上でもより多くの算定が可能となっている。当院においてもリハビリテーション実施件数が増加傾向にあり、その中で新規開始患者も増加している。

グラフ中、22年度より分類方法の変更があり、脳血管が脳血管と脳血管廃用に、運動器が運動器Ⅰと運動器Ⅱに変更されている。

今後ますます増加していくと思われる分野であり、療法士数の増加、設備面での拡張が必要となる。

25年度より、がんのリハビリを算定するようになった。今後はがんのリハビリ算定患者も増加することが予想される。

データ提供 リハビリテーション部